

16 名古屋ガイドウェイバス株式会社

令和5年7月1日現在

設立年月日		平成6年4月1日	代表者氏名		代表取締役社長 浅井 慶一郎				
所在地		名古屋市守山区竜泉寺二丁目301番地				電話番号	052-758-5620		
ホームページアドレス		https://www.guideway.co.jp/							
資本金・基本金		3,000,000千円	市出資・出捐金		1,900,000千円		(63.3%)		
所管部局		住宅都市局都市計画部交通事業推進室				電話番号	052-972-2791		
設立目的		志段味ヒューマン・サイエンス・タウンの建設が進められている志段味地区と都心を結ぶ交通需要に対応するため、名古屋市東北部の交通結節点である大曽根から小幡緑地間の交通混雑の著しい区間を「ガイドウェイバス志段味線」として高架で整備し、効率的で質の高い交通体系の形成に寄与することを目的とする。							
主な事業	事業名		令和4年度 営業収益		事業の概要				
	運輸事業		613,046千円		ガイドウェイバスシステム志段味線軌道区間における旅客輸送				
役員数			常勤非常勤						
	役員数		4人 (うち市派遣)		0人 (うち市OB)		4人 5人		
	職員数		22人 (うち市派遣)		2人 (うち市OB)		3人 9人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		4,749千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		4,961千円		正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	49歳
市からの財政支出			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	委託料		62,145千円		60,843千円		53,852千円		
	内 随意契約金額		(62,145千円)		(60,843千円)		(53,852千円)		
	補助金		0千円		2,853千円		120,225千円		
	指定管理料		0千円		0千円		0千円		
	貸付金 (年度末残高)		18億円		18億円		18億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		594,018千円		617,487千円		628,029千円		
	経常費用		763,711千円		780,667千円		826,181千円		
	経常利益 (損失)		▲ 169,694千円		▲ 163,180千円		▲ 198,153千円		
	当期利益 (損失)		▲ 170,671千円		▲ 161,303千円		▲ 126,019千円		
貸借対照表	総資産		1,097,761千円		965,210千円		892,192千円		
	内 流動資産		(499,777千円)		(401,184千円)		(360,986千円)		
	内 固定資産等		(597,984千円)		(564,026千円)		(531,206千円)		
	総負債		1,965,766千円		1,994,518千円		2,047,519千円		
	内 流動負債		(948,862千円)		(977,531千円)		(1,029,570千円)		
	内 固定負債等		(1,016,904千円)		(1,016,987千円)		(1,017,949千円)		
	純資産 (正味財産)		▲ 868,005千円		▲ 1,029,308千円		▲ 1,155,327千円		

経営に関する指標（共通指標）

16 名古屋ガイドウェイバス株式会社

○法人の自立性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	10.3%	8.6%	▲1.7%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%

	令和4年7月1日現在	令和5年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	40.0%	44.4%	+4.4%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	16.0%	18.2%	+2.2%

○組織運営の効率性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
販売・管理費比率 $\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	12.5%	12.7%	+0.2%

○財務の健全性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	▲106.6%	▲129.5%	▲22.9%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	41.0%	35.1%	▲5.9%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	—	—	—
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	185.1%	200.3%	+15.2%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{—}} \right)$	▲ 4,029,308千円	▲ 4,155,327千円	▲ 126,019千円

○ 経営戦略計画（R2～R4）の概要

経営戦略方針
① 輸送の 安全確保を最優先 として、ガイドウェイバスシステムの特性である安全性、高速性、定時性、快適性を活かした 輸送サービスの 提供に努めます。 ② 名古屋市北東部の基幹的な公共交通機関として、市の施策や沿線施設等との積極的な連携 に取り組み、地域の 魅力発信や 活性化に 寄与 します。 ③ 安定した収益の 確保と経費の 節減 に努め、効果的・効率的な事業運営を行う とともに、将来を見据えた財務構造の改善に取り組み、安定した経営基盤の確立を目指します。 ④ 施設・設備 機器 の 経年的な劣化に対処するため、計画的な 維持管理・更新 を行うとともに、今後予定される 次期車両更新 等の大規模な設備投資を円滑に進めるため、具体的な検討・準備に取り組みます。 ⑤ 安定的 で質の高いサービスの 提供を支える 人材の確保・育成に 努めます。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	4 目標値	4 実績値
安全・安心・安定輸送の確保	安全で安定した輸送の確保事故件数(件/年)	年間事故件数 0件	年間事故件数 0件
沿線施設・団体等との連携による沿線の活性化に向けた取組の推進	イベント等を通じたPRの実施	イベント参加者数 延べ800人以上	ウォーキング等 (主催・共催) 3回:986名
収益性の向上等による経営基盤の強化	利用人員の増加(人/日)	12,778人	10,738人
	経常損益(千円)	黒字	赤字 (経常利益 ▲198,152 千円)
	附帯事業等収入(千円)	対基準年度実績 +10% (14,896千円)	対基準年度比 +20.8% (R4年度実績: 16,355千円)
次期車両等の更新に向けた対応	車両更新等に向けた準備	方針整理	名古屋市、製造 関連メーカー等と の協議、情報収 集及び検討を 実施
安定的な人材の確保と育成による人材力・現場力の強化	人材力・現場力の強化	社員と経営幹部と の意見交換の実 施	意見交換会を 実施